

農業を支える担い手の確保及び育成

ねらい

農業従事者の高齢化や担い手不足が進む中、ブランド産地の維持を図るためには、次代を担う経営体の育成や労働力の確保が急務であり、新規就農者はじめ多様な担い手の確保と定着への支援が最重要となっている。

そこで、新規就農者の育成に向けては、新規就農者育成総合対策（経営開始資金等）などを活用している新規就農者に対し、技術・経営面をはじめとした体系的かつ持続的な支援を行うことで、就農の早期定着と地域農業の担い手としての育成を図る。なお、自らの経営を規模拡大し法人化を目指す担い手など時代のニーズに合わせた多様な担い手による地域農業の維持発展を目指す。

活動地域・対象

吉野川市、阿波市
阿波吉野川農業青年クラブ連絡協議会
(阿波町農業後継者クラブ、吉野川農業後継者同志会、個人会員)

普及活動の目標

新規就農者数 30名
新規就農者モデルを構築する。

目標に向けた活動概要

①新規就農者の確保

- ・新規就農者の確保・育成のための関係機関との連携強化
- ・円滑な就農開始に向けた支援



新規就農者と指導農業士の交流会



淡路島への視察

②新規就農者の育成

- ・技術の確立と経営の安定に向けた支援
- ・就農後の定着に資する仲間づくり



アーク溶接研修会

③阿波吉野川農業青年クラブ連絡協議会の活動支援

技術交換会（視察・溶接研修・ロープワーク研修・講演）
仲間づくり交流会、地域貢献活動、経営向上等の活動発表

【発表したプロジェクト活動】

R5金子克浩 みんなで儲かる農業を目指して～まずは土づくりから～ 全国青年農業者会議
R6松永佳之 トマト苗における仕立て方の違いによる生育状況の比較 徳島県青年農業者会議
R7寒川雄介 新しい農コミュニティ 中国四国地域若い青年農業者のつどい

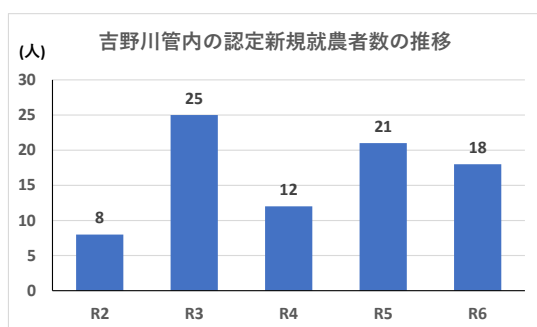
普及活動の成果

若手農業者が必要としている活動を行うことで、青年農業者クラブへの新規加入者が増加し、新規就農者の定着のための受け皿としての機能を果たしている。



青年農業者活動が活発化し新規就農者の参入が継続的に毎年10名確保できるようになった。

新規就農者モデル：吉野川管内に参入した事例をもとに農業の複合経営モデルを作成した。



吉野川地区における新規就農者経営モデル：所得約490万円、耕地面積1.5ha、労働力2名

品目名①～④ブロッコリー	作付面積 a	所得 (円)	労働時間 (h)
夏秋ナス	12	1,559,896	1,411
① 8月播11,12月収穫	54	1,371,913	1,005
② 9月播2月収穫	14	268,478	258
③ 12月播4,5月収穫	55	1,265,250	1,005
④ 1月播5月収穫	16	400,381	298
合計	150	4,865,917	3,976

R 7 徳島県経営指標、線形計画表による算出

用語
説明

新規就農者育成総合対策

- (1) 経営開始資金：新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまでの最大3年間、月12.5万円（年間150万円）を定額交付
- (2) 経営発展支援事業：新規就農される方に、機械・施設等導入にかかる経費の上限1,000万円（経営開始資金の交付対象者は上限500万円）に対し、都道府県支援分の2倍を国が支援支援する。（国の補助上限1/2）

今後の発展方向

- ・初期投資が比較的かからない夏秋ナスとブロッコリーの複合経営を中心に例年、10人の新規就農者が見込める地域となった。今後も支援を継続する。
- ・青年農業者が必要としている知識、技術を聞き取り、ニーズに合わせた活動を実施する。

関係者からの声

- ・新規就農する場合、地域との交流、先輩農家からの生きた情報、助言が役立った。
- ・ゼロから農業を始めたが、青年クラブで仲間ができたので心強かった。

吉野川農業支援センター

連絡先：徳島県吉野川市川島町宮島736-1 tel: 0883-26-3971